

(4) 農業のうつり変わり

岡山県の農業は、すぐれた先人の^{どりよく}努力によって発展しました。明治時代から大正時代には、米、麦、くだもの、い草などたくさん農産物が生産され、農業先進県といわれるようになりました。

約50年前から日本の^{けいざい}経済が急速に成長しました。

岡山県でも、水島を中心に工場がたくさんつくられました。そうして農業だけでなく、工業や商業もさかんな県にする努力をしました。このような経済の発展につれて農村から働きに出る人が多くなりました。

しだいに農村では働きざかりの人が少なくなり、お年寄りや女性にたよる農家がふえてきました。今では、農村で農業をささえる若い働き手がたいへん少なくなりました。



えんとつやタンクの立ちならぶ水島工業地帯